

公表

事業所における自己評価総括表(放デイ)

○事業所名	ライズ児童デイサービス川崎西口		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が楽しみながら色々な事に興味を持ち自らの得意とする分野や活動を見つけ 御子様の自立度をツールを通して支援出来る事業所です。「やりましょう!」では無く「やってみたい!」と言う御子様の気持ちを尊重出来る様な視野の広がりを提供しつつ未来へ向けてサポート致します。	お子様も保護者の方々も時代のトレンドのキーワードで御理解して頂けるツールを用いて保護者の皆さんも参加して頂き、御子様と御一緒に参加活動する中で御子様の新たな発見の機会を企画し取り組んでいます。	外部機関や関連事業所と連携を取りながら新しいカリキュラムの導入や他施設での体験や見学の機会を増やして行きます
2	お子様方の未来を保護者の皆さんと考えて行く事をテーマに「未来の扉」というテーマに関連機関や成人施設の支援者の方や卒業生の皆さんより経験談や体験談等を保護者の皆さんに御説明や質疑応答の機会を作り保護者の皆さんの安心感を持って頂く切っ掛けをカリキュラムやイベントとして開催しています。	お子様の御年齢問わず将来の事を気にされている保護者の方々の気持ちを理解し、気にされている内容等を聞き取り関連機関や事業所の責任者の方に事前に相談し多種な形式の企画イベントを開催し他事業所との横繋がりを作る取組を続けています	就労A 就労B 相談支援員 就労移行支援事業所 訪問看護事業所 生活自立訓練事業所 療育センター等 様々な機関と交流を続け御利用の御子様方や保護者の方へフィードバックさせて頂く機会を更に強化して行きます
3	お子様方の取り組まれたイベントや活動の内容を出来るだけ映像や他資料を制作し個々の対象の保護者の方へ御子様の「ひとつひとつの積み重ね」として共有させて頂いています。普段では見られない友達との協力活動の様子や自立心から参加している活動内容など、その場で見る事が出来ない保護者の皆さんへプレゼンテーションさせて頂いております	保護者の声より「うちの子どもは きっと●●は しないと思います」では無く実際 活動体験した所 「こんな事が出来ましたよ!」と保護者の皆さんへ極力御子様の達成した事や気持ちをお伝えする事を意識的にしております	今後もチャレンジ出来ない事や体験した事が無い事を軸にお子様方の興味や視野を広げる機会を企画し御子様と職員一緒に充実感ある活動内容を時代の流れと進化を合わせて実施していきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常勤職員の皆さんの前向きな支援と限られた時間内での支援時間にて正社員との歩み寄りが更に出来ればと思っています。保護者へ状況説明や改善策等を明確に誤解ない様に伝えて行く様に致します。	全職員が大きなイベントカリキュラムや支援共有の出来る機会を増やして行く手段を検討したいと思います。支援員の言葉の伝え方やコミュニケーションの細かい配慮をしながら交流致します。	共有方法のツールを増やして行く(ツール内容は何が一番効率良いか検証) 事と実際に全職員が対面で揃う機会を作る取り組みをして行きます。実際に日頃の活動状況を保護者の方々に今共有出来るツール方法を考えたいと思います。また出来る限りの資料提供に基づいて改善策や支援方法を検証して行きます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果(放デイ)

事業所名 ライズ児童デイサービス川崎西口 (放課後デイ)

公表日 2026年3月15日

利用児童数 46

回収数 43

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	2			大きなお子様もいるので狭く感じるかもしれませんが工夫して活動させて頂いています。	カリキュラムも踏まえて低学年と高学年の活動を分別してサポートしています。いつも有難う御座います	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	41			2			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	43						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	42				1	以前ベランダにゴミ袋が沢山置いてあった気が致しますが今は片付いていますでしょうか？	年末の収集日に間に合わなかった物が一時的に御座いましたが今は破棄されております。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	1		1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42			1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43					いつも子供の出来る事を考えて頂き有難ございます。	楽しく出来る事をひとつひとつ積み重ねが出来ると良いなと思っております。コメント頂き有難うございます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42				1	日頃出来ない経験のカリキュラムを実地して頂き有難う御座います。	験やコミュニケーションをして頂く事で将来の一つの宝になればと思っております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	34	1	1	7		特になくても良いし気にしていません	定期的な外部機関との交流カリキュラムを開催し御案内させて頂いております。ご利用日に開催されない場合も開催しますので開催日を今後順次行いく事を検討しております
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	42			1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40	2	1				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	43						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43					丁寧に親身に話しを聞いて下さりアドバイスをして頂いたり安心しております。	保護者の方々の御悩みや御相談は我々が出来る限り学ばせて頂き御対応出来る様に今後も続けてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43					送迎の際など日々の様子を細かく丁寧に教えて下さり愛情を持って接して下さっている事が伝わり本当に嬉しいです	日々の御様子や活動など御伝えてして行く事で御家庭では見られない様子などお子さんの成長の御参考になればと思っております
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	39		2	2			定期的に開催しております。保護者参加型のカリキュラムなどに御参加して頂ければと思います。定員数等や開催曜日に限りがありますが機会を増やして行ける様に検討しております。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41	2						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	41			2	送迎の際に活動の様子を写真などで見せて頂いておりますが、それ以外にも見れ場や機会があれば更に嬉しいです	定期的に開催しております。保護者参加型のカリキュラムなどに御参加して頂ければと思います。定員数等や開催曜日に限りがありますが機会を増やして行ける様に検討しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	40	2		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	42	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	41	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	41	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43				細く長く繋がって頂き感謝しております	成長と共に御利用回数が少なくなっている事が成長の証かと思っております。お子様と接する機会が年齢と共に少なくなるのは我々寂しく思いますが、お子さん方の未来を今後とも応援致します
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	43				eスポーツの曜日は難しかった様ですが曜日変更後は楽しみが増えた様です。	お子様に合ったカリキュラムを検証して御支援に今後も当たらせて頂きます。有難うございます
	29	事業所の支援に満足していますか。	43				楽しく日頃、通常でも体験出来ない事を企画して頂き親も楽しく参加させて頂いたり大変満足しています。今後とも宜しく御願い致します	

## 公表 事業所における自己評価結果(放デイ)

事業所名		ライズ児童デイサービス川崎西口（放課後デイ）				公表日	2026年 3月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		利用者の店員を調整している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12		児童人数に合わせて職員人数を調整している			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	2		床マットが古いので新しい物に、そろそろ変えて行く。ある程度確保されているが子供達に更にわかりやすい様にするとうる良い		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	2		掃除は毎日行う体制は出来ているが大きな空間の清掃は定期的に行う事をする		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	1	使用された机や椅子など日々清掃消毒をしている	クールダウンの個別部屋はあるが集中出来る環境になる様に更に改善をする		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	1		業務改善のコミュニケーションは常に行っているがPDCAサイクルを意識した業務改善を更に強化する		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		評価表は公表されていて職員にも特記事項は共有されている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	朝礼 終礼を毎日している事で業務改善の体制が整われている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2	定期的に管理者、児発管が会議を行い、外部の方が書類チェックを行い業務運営ができる様になっている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	2	毎月 研修を行い業務の質向上が出来る体制は出来ている。実際に支援で起きた課題や事項や起こりえる案件を共有出来ている			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		子供達の課題や興味に応じたプログラムが作製されている			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	1		児童を中心に他職員が子供に対する課題などを共有する機会が設けられている			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1		カンファレンスにて話し合いをしている計画書など完成した内容を最終的に回覧して行く		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1		平日は放課後と言う事もあり個別対応の時間が限られているが課題に応じた支援が個々に出来る様に検討して行く		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1	子供達が来たくした後にミーティングや記録をとり共有している。職員間で多角に子供達の行動を考え意見を出し合える環境がある			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		多面的な支援が計画されている			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		プログラムは欠かせず立案されている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		子供の関心や興味を持てる発達段階に合わせたカリキュラムを実施している			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		計画書の作成時は職員間の打ち合わせがしっかりできている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	朝礼を行い職員間の共有が出来ている体制は整っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	1	朝礼を行い職員間の共有が出来ている体制は整っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	12		5領域に応じた支援計画や基本活動が組み込まれている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		子供達の「やりたい!」を実践に「得意」を伸ばす体制が出来ている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		管理者が積極的に交流を図り連携出来る体制が整っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12		管理者が積極的に参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	2	近郊の放課後デイとの情報交換を行う機会が出来る	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	1	管理者が支援交流会など定期的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎時に保護者と情報共有などをしコミュニケーションを図らせて頂いています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12		多様な説明会が多く開催されている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		保護者と児童とのコミュニケーションが密にとれる環境になっています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			出来ている職員と出来ていない職員がいる為、今後の改善を検討していく事が必要

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12		説明会など話し合いが出来る機会が多くあります。保護者参加型のカリキュラムにて保護者との交流出来る機会が自然と出ています	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12		近郊の医療施設など交流イベントを行って地域交流をしております	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12		マニュアルに沿った形で避難訓練や防災訓練をカリキュラムとして取り組んでいる	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12		防災訓練を定期的に必ず実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12		ヒヤリハットを活用し次回の課題を支援改善情報共有を職員間で行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12		研修実施に伴い不適切と感じる事案が起きた際に職員同士で確認を日々している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	1	御見学や体験時に御説明をさせて頂き御利用に繋がっていると思います		